

カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.1

第一副会長 伊藤 容子

2022年10月31日（月）、名古屋東急ホテルにて、会員83名、ゲスト8名、合計91名の出席者で開催いたしました。

午後からのプログラムでは、『今、知っておくべきこと…』として、3人の講師をお迎えし、3つのテーマ「地球温暖化：齊藤清氏（日本気象予報士、東海支部）」、「食品ロス：松岡篤史氏（認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋、理事）」、「危機管理：古屋弓子氏（錦クラブ会員）」についてお話をお聴きし、その後、卓毎（14卓）でディスカッション、積極的な意見・感想の交換、卓発表、講演者への質疑応答を行いました。〈人といろいろな意見を交わすこと、聞くことで、学びがより深まる〉ことを実感しました。



今期のプログラムは“学びの先に…”をテーマにしていますが、学ぶ仲間（ITC-J会員）の存在と、学びの先にある豊かな楽しみを感じる充実した会合となりました。

カウンスル No.2

第一副会長 筆本美智子

カウンスルNo.2は11月14日（月）に三田地里穂講師をお迎えして「誰も知らない私・わたし・私」～30秒・30秒・45秒からの出発～のスピーチワークショップを行いました。参加者72人の多くが参加して、印象に残る自己紹介から始め、ITC-J会員はそれぞれ個性ある聴衆を楽しませる自己紹介を行いました。くじで引いた番号がいつ当たるかわからずドキドキしながら、会合2週間前と当日課題に講師の指示した30秒スピーチを行いました。課題の解釈に講師の意図とは違ったものもあり、戸惑いつつもワークショップならではの生き生きとした発言が続きました。最後は「人生のやり残し」のタイトルで、イントロダクション・テーマセンテンス（伝えたいこと）・理由（なぜならば）・展望（ビジョン）・結論を述べるとスピーチが完成することを学びました。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.3

第一副会長 津田 由貴

カウンスルNo.3第1回会合は、11月29日神戸ポートピアホテルに於いて開催され、74名の参加者と共に有意義な一日を過ごした。

プログラムは「私たちとSDGs We Must!!」をテーマに7クラブが趣向を凝らしたプレゼンテーションを行った。生活の中で今すぐに出来ることのアイデア、海洋国であり森林国である日本の脱炭素の可能性、健康長寿社会の実現、生産者の知恵と工夫、教育の未来など、バラエティーに富んだ内容とユニークな発表方法で繰り広げられ、会場は大いに盛り上がった。



全員で行ったディスカッションでは、世界の潮流に対し意識を高く持つこと、私たちの努力は小さくても皆で持続すれば大きな力となることなど、多くの意見が出て、皆さんのSDGsに対する関心は高く、大きな手応えを感じた。

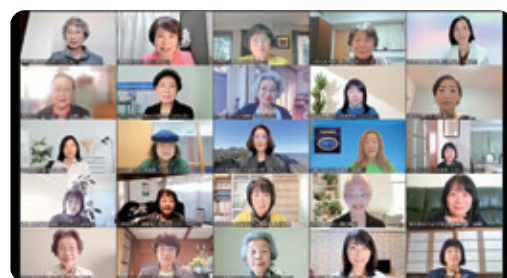
カウンスル No.4

第一副会長 渡辺 遙子

年間テーマ「窓を開けて」・会合テーマ「共有する」2022年10月31日 13:30～15:30 各自宅において、コロナウイルスの感染状況を考慮してZoomオンライン会合を開催いたしました。

来賓として佐野千賀子会長他2名の役員、および山口久美子年次大会準備委員長のご出席をいただきました。

プログラムは、ブックレビュー（グループワーク）です。ブレイクアウトルームは各部屋（グループ15室、各室4人～6人）に分かれて入室し、グループリーダー進行の下に「お薦めの本」のブックレビューを行い、ブレイクアウトルーム終了後、2名にブックレビューの発表と、グループリーダー2名に感想の発表をしていただき、和気あいあいとオンライン会合は行われました。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.5

第一副会長 島津 京子

3年ぶりの対面会合で出席数が心配でした。

嬉しいことに88名の出席をいただき感謝につきます。今回の会合は「全員参加型」にこだわりました。プログラムにコミュニケーションを具体的に表現した「あなたならどうする？」のタイトルで教育資料「IメッセージYouメッセージ」からワークショップを行いました。

出席者を14テーブルに配置し、各テーブルに相手を責めるYouメッセージセリフを配付後、相手を気遣うIメッセージをディスカッションし、出来上がった順に



テーブル代表の2名が壇上で演じました。日常生活に起こりがちな場面設定は多岐に亘り、演者のロールプ



レイにフロアーが笑いの渦につつまれ、全員参加の一体感を得られたプログラムができました。No.5のパワーを感じる会合となり、ご協力いただきました会員の皆様に感謝致します。

カウンスル No.6

副会長 水田登茂子

京都の紅葉シーズンがピークを迎えた11月22日、京都二条城前の全日空ホテルでカウンスルNo.6第35期第1回会合が開催されました。

カウンスルNo.6は3クラブをワンチームと考え、プログラムは全員が主役に、各自が達成感を満たすようにと考えています。

会合ではビジネスの後、深沢克己先生の講演「学びの道・人の縁」は映像をつかって密輸更紗の発見から更紗の学の道、それに携わった人の縁とヨーロッパの発展について意義深いお話をお聞きしました。



次の平岡隆一先生の講演「究極のコーディネート」は1960年代からのファッション界の流れをお聞きし、No.6会員総出演のショーでは帽子やスカーフの小物で小変身、もう一人の自分を発見できたような不思議な気持ちになり幸せ感をいただきました。

ゲストの方々から温かい応援をいただき、全会員明るく楽しい会合となりました。

カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.7

第一副会長 廣田 花江

第1回会合35周年記念会合は、11月17日（木）出雲ロイヤルホテルに於いて、来賓12名一般ゲスト12名を迎え計89名が集い、開催された。ビジネスでは、後藤英子公式訪問者のITC-Jインフォメーションをはじめ各種報告があり、指名委員選挙、会則修正案の審議が執り行われた。そして山口久美子大会準備委員長のITC-J年次大会案内と続いた。祝宴では、丸山達也島根県知事・飯塚俊之出雲市長の祝辞、佐野千賀子ITC-J第41期会長



に乾杯のご発声をいただき、晴れやかに、和やかに、対面での親交を深めることが出来た。午後からは、米子水鳥公園ネイチャーセンター館長 神谷要様より、「私たちは水鳥だけでなくゴミでもつながっている!？」と題しての講演があり、SDGs17の目標、未来のため今私たちにできることを共に考える機会を得た。その後、35周年の節目を迎えるにあたり、第30期から第34期の会長から、ITC-Jの未来像をテーマにしたメッセージが語られると、会場から惜しめない拍手が沸き起こった。コロナ禍でのカウンスル運営の労をねぎらい、5人の元会長へ花束を贈り、感謝の意を表した。

カウンスル No.8

第一副会長 林 栄子

秋晴れの文化の日、東京ウィメンズプラザに会員、ゲスト総数59名の参加をいただき第1回会合が執り行われました。プログラムは、香道御家流二十三世ご宗家三條西堯水様の講演「香りを楽しむ芸道」に次いで「聞香」「二柱」佐曾羅と伽羅（夜半の月）が手厚い準備により素晴らしい香りを届けていただき会場からは、「私、お姫さまになったような気分」などと感嘆する声が上がりました。一方で、ご宗家におかれましては本会スタートから熱心に見守ってくださいました。ご講義に対する会員からの質問が続いたことや初めて聞いたお香の香りに感激した会員の反応に



ご自身がお喜びのご様子でした。

笑顔満載の中プログラムは「香満ちました。」

